楽しい仲間

平岡町後援会ニュース

2019. 11　日本共産党平岡町後援会　TEL425-3911　NO-248　部内資料

助け合う仲間

市民に背を向ける加古川市政を批判！

立花俊治 議会報告会

台風のため延期となりました後援会主催の市議会報告会が、11月8日に加古川総合文化センターで開催され、立花市議が報告しました。

スクリーンを横に説明する立花市議

公約実現をめざして

報告会は、はじめに木戸久裕会長があいさつ。続いて立花市議がスライドで自身の「選挙公報」を映し、「公約の実現」をめざして議会活動してきたと述べました。

具体的には、①国保一世帯一万円引き下げでは、一兆円の国庫支出を求める意見書を提出、②かこバスの改善では、平岡東部で新路線が具体化、③すべての小中学校のエアコン設置を実現し、中学校給食も遅ればせながら実施の運びになったと報告しました。

また市議には、沢山の市民要求が持ち込まれる。高畑の里道改修や公園遊具の更新、喜瀬川の土手の除草、通学路の安全対策などで、この解決は党支部や後援会と力を合わせて努力していることを報告しました。

明石市に比べ

加古川市政はお隣の明石市に比べ幼児対策でも高齢者対策でも大きく立ち後れています。

党市議団は市民要求に対し当局は「財政が厳しい」と市民に辛抱させていますが、財政積立金は２０５億円を超えており（ちなみに明石市１１８億円、宝塚市９５億円）これを活用して市民の要望に応えるべきだと議会毎に主張しています。

神鋼の煤塵調査なども

加古川市民にとって神鋼の煤塵は大きな問題です。党市議団として科学者の協力を得て独自の煤塵調査を開始したことも報告されました。

参加者から質問・意見が出され、立花市議が応えました。

◇指定ごみ袋はやめて欲しい。
◇かこバスの充実はぜひ。
◇90歳記念は毛布いらないから、タクシーの補助をしてほしい
◇特別養護老人ホームの確保

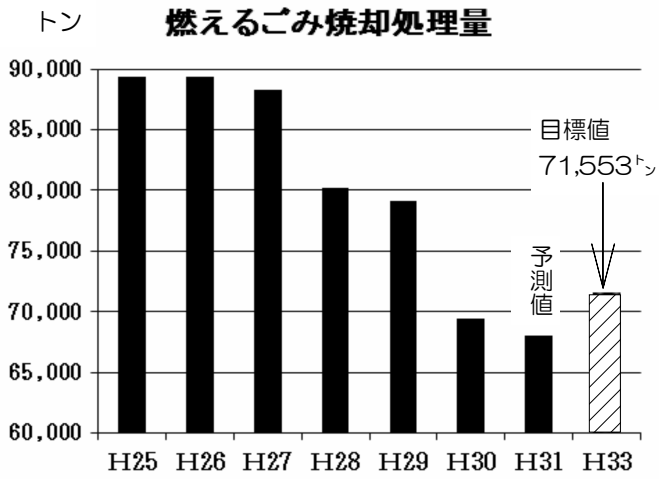
などの意見を戴き、立花市議は、市政に生かせるよう決意表明をし閉会しました。

神戸製鋼加古川製鉄所の高炉

パブリックコメント「指定ゴミ袋導入」に7割が反対

加古川市では「加古川市民27万人の力で20％ごみ減量を！」を掲げ、市民もその声に応え各家庭での分別など積極的に取り組んできています。

図に示されるように、25年度と比較して30年度は22・3％の削減となっており、目標（20％）を超過達成しています。



12月条例で決めないで

市はまだ全国平均に届いていないので指定ゴミ袋にすればさらに削減効果があると導入を検討していますが、市民の努力を無視して導入を決めないでください。

街角で行ったシール投票でも反対の声が多く上がりました。市に要望を求めるため、署名活動を取り組んでいます。

皆さんのご協力をよろしくお願いします。

九条の会・平和と文化のつどい

軽快に語るみややっこさん

「笑って楽しく平和な未来を！」

二市二町九条の会は、16日第14回平和と文化のつどいを開きました。

合唱やコントラバス、ピアノ演奏に続いて八法亭みややっこさんが、すべての国民は個人として尊重されるという現憲法のすばらしさを軽快な語り口で優しく、面白く解説されました。

また、安倍改憲の危険性を指摘され、「日本の若者が70年間も戦争で血を流していないことを他国に学んでもらうことが積極的平和主義ではないか」と強調されると会場は大きな拍手に包まれました。

子供医療費助成制度の改正で無料化実現へ　共産党市議団の主張が実る

共産党の高木えり市会議員は、9月議会でも所得制限を撤廃するよう要求してきました。市当局より無料化にする条例を12月議会で提案するとの説明がありました。

◎改正概要

助　小学校4年生から中学校3年生までのこどもに係る医療費成について、所得要件を廃止し、中学校3年生以下のすべてのこどもの医療費に係る自己負担を無料にする。

※実施時期は市は令和2年7月1日よりとしています。